

鳥取市議会本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 (第31回) 会議録

会議年月日	令和3年12月15日（水曜日）		
開会	午後2時4分	閉会	午後2時29分
場所	市役所7階 第1委員会室		
出席委員	委員長 岡田信俊 副委員長 勝田鮮二 委員 加嶋辰史 朝野和隆 吉野恭介 岩永 安子 平野真理子 上杉栄一		
欠席委員	米村 京子		
委員外議員	太田 縁		
事務局職員	事務局次長 植田 光一 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	【総務部】 総務部長 浅井俊彦 次長兼財産経営課長 一村泰志 財産経営課課長補佐 中村和範 【企画推進部】 企画推進部長 高橋義幸 経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 渡邊大輔 政策企画課課長補佐 平田政志		
傍聴者	2人		
会議に付した事件	別添資料のとおり		

午後2時4分 開会

- ◆岡田信俊 委員長 ただいまから本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を開会します。
 初めに、欠席委員について御報告いたします。米村京子委員より、入院加療のため本日の委員会を欠席する旨の届出がありましたので、御報告いたします。

議案第143号令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第11号）【所管に属する部分】

- ◆岡田信俊 委員長 それでは、早速審査に入ります。
 議案第143号、令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第11号）、所管に属する部分については、先日の委員会において執行部より御説明をいただいております。
 これより質疑を行います。質疑のある方は、順次御発言をお願いいたします。
 加嶋委員。
- ◆加嶋辰史 委員 加嶋です。現在、発注、解体工事に引き続き施工することにより、再度の工損調査等の経費の削減及び施工期間の短縮につながると説明を受けました。財源の圧縮効果の説明を求めます。
- ◆岡田信俊 委員長 一村次長。
- 一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 財産経営課、一村でございます。先ほど加嶋委員さんの

ほうから質問がございました。趣旨としましては、地階撤去しないで、具体的な整備まで地階を置いておいた場合、つまり工期を分けた場合に要する経費というところがどのようなものがあるかというところだと思います。

まず、1つ目として、仮囲いのリース料が発生します。これは、地上の部分を撤去して地階を残したままですと、どうしても危険が生じますので、その地階部分を仮囲いして、今までみたいな形で安全を管理するといった観点でございます。これが現在の予算ベースで旧本庁舎、第二庁舎合わせて約190万円、年間に必要となってきます。その他、工損調査でございますが、工期が空く期間にもよりますが、例えば半年以上工期が空くような場合になりますと、上階の撤去を終えた時点で、速やかに事後の工損調査というのを行います。その後、これ、期間がいつになるかははっきりはしないんですが、2期工事が始まる前に再度の工損調査、事前、事後を行う必要がございます。再度の工損調査につきましては、事前調査が約2,000万円、事後調査が約3,000万円必要になってきて、約5,000万円、工損調査1回限りの費用でございますが、これが必要になってきます。なので、合わせて、経常的に要る部分と1回限りの部分と違いはありますが、約5,190万円必要になってくるということでございます。以上です。

◆岡田信俊 委員長 岩永委員。

◆岩永安子 委員 財源の圧縮効果っていうことで、さっきの回答だったんですが、3つ理由を説明されました。それで、経費の削減っていうことで言われたわけですけど、私はあんまり、物分かり悪いので、去年の12月補正のときに解体工事の概要の説明があつて、地下部分はその段階では取るという説明ではなかって、いずれ取ると、用途がはっきりしてから。今回、用途がはっきりしたから取るということなんですけど、財源の圧縮効果っていうことで今の説明はあつたわけですが、一番最初に、もう一緒に取ってしまうということでも工事を始めとったら、圧縮効果ももっとあつたのかどうなのかっていうところの説明も求めたいと思うんですが。

それと、もう1点は、50センチ程度の段差ができるっていうのは、先日の委員会で初めて聞きました。そういうことが分かるとしたら、やっぱり最初から取ることを考えたんじゃないのかなって思うんですけど、そういうことを、どの段階でそういうことが分かったのかっていうか、今まで分からなかったのかっていうか、そういうことです。

◆岡田信俊 委員長 一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 財産経営課、一村でございます。先ほど岩永委員さんのほうから質問がございました。そもそも論ということでございますよね。そもそも地階の撤去を分けなくて一体で工事しておった場合、発注した場合、実際に費用はどれぐらい、費用の差はどれぐらいになったのかというところなんですけど、これはあくまで仮定の話という形で説明させていただきたいんですが、入札による請け差率とかを考慮して計算した場合、今、設計費用とそういった請け差率との差というか、それが試算した場合、約2,000万円程度は一体でしたほうが安くはなっておった可能性がございます。ただ、これは何回も言いますが仮定の話でございます。地階の撤去を加えた場合は、工事の落札率が変わる場合もありますので、そこは何とも言えないということです。あくまで今の落札率で算定した場合は2,000万円程度、一体でしたほうが安かったという形にはなりません。

あと、どの段階で分かったかということですが、これは設計段階では分かっておったことな
んですけど、このたび跡地の活用の方法が決まりまして、提言がなされまして、防災・減災機
能を持ち合わせた緑地公園として、オープンスペースとして整備するというようなことが明ら
かになったというところがありますので、そういったところを、今まで、ぼんやりとしとった
活用方針が定まったということもあって、具体的にどうしたほうが次の整備につながるかとい
うところを改めて検討した結果、いずれ地階のほうは撤去しないとイケないということもござ
いますので、このたびで生じた請け差を利用したりして、3点の理由を申し述べたんですけど、
そういった形で一体的に撤去したほうが有利ではないかというような結論になったところでご
ざいます。以上です。

◆岡田信俊 委員長 岩永委員。

◆岩永安子 委員 続けてやるっていうことは、確かに工損調査は必要ないし、今の段階でそうい
う方向しかないのかなというふうには思いますが、いろんな、例えばそういう段差も地下部分
を残したらそういうことは出てきますというお話とか情報とか、その上で、だけど残して工事
を始めますっていう説明ではなかったの、じゃあ、だけど、そのときそういう説明があった
からこういう判断をしなかったかどうかっていうのは分かりませんが、できるだけ情報は共
有をして進めていかないとイケないし、何か、やっぱり誰が考えても一緒にやればその分安く
済むっていうのは、それを請けてくださる事業者があったかどうかともそれは分かりませんが、
そこら辺でこういう方法しかないんだっていうことで了解をしてきたもんですから、そこら辺
でいろんな情報はもっと共有したかったですし、私もそういう意見交換をしてなかったとい
うところを反省したりしるところですので、ぜひいろいろ、特に、非常に専門的な工事だとかっ
ていうことになると本当に分からない部分もいっぱいあるので、ぜひ情報は共有をして進めて
いくということをお願いしたいと思います。

◆岡田信俊 委員長 一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 先ほど岩永委員さんから御指摘がございました。情報の
ほうは、当委員会のほうにも速やかに、積極的に提供させていただきたいというふうにご
ざいます。

あと、段差のほうなんですけど、やはり当初は緑地公園、防災公園というようなことは決ま
ってなかったわけですし、それが正式といいますか、明らかになったというところもございま
すし、防災公園につきましては前回説明しましたけど、有利な財源というのが、あまり使い勝
手がいいというのがございませぬので、そういった事情もあるというところもございま
す。以上です。

◆岡田信俊 委員長 浅井部長。

○浅井俊彦 総務部長 総務部長、浅井でございます。跡地の活用の方針といたしましては、21
日の全員協議会のほうで最終的な方向性というものを outsizing させていただくということ
で、今現在はまだ確定はいたしていません。

それから、ちょっと補足になりますけれども、地下部分を残しておいたといいますのは、こ
の跡地の活用方策が決定した後で、例えば建築物等を建てるという方向性になった場合は、地

下の解体経費と合わせて一体施工すれば、この地下の撤去部分にも有利な財源を活用できる可能性があったと、そういう可能性を残すために当初は含めていなかったというような経過がございますので、ここもちょっと補足させていただきたいと思います。以上です。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 岩永委員の関連になるんだけど、今、部長が有利な財源の話をしたんだけど、前回っていうか、以前には残すと、地下部分はね。それで、新たな有利な財源のほうがトータルコストからすると安く上がるから残すんだというような説明だったわけなんですけれども、今回、一緒に工事をやって、それで今、圧縮効果が5,190万ぐらいはあるということだったんだけど、委員会での説明で、どこからこれが変わったのかなってというのがちょっと私も、当初は私もそれで納得したわけですね。なぜ一緒に壊さないかっていうときに、後の跡地活用について、建物を建てる場合に有利な財源があった場合にはそちらのほうが安くつくんで、そちらのほうで行くんだということだったんだけど、急転直下みたいな形でこれが出たもんだからね、ちょっとそれこそこの辺りが、委員会への報告っていいですか、それがどこで変わったのかなってのがちょっと私もよく分からんだ。

だから、説明はあったにしても、やはりもっと、それこそこの委員会の中でしっかりとした説明をしてもらわないと、私はもうとにかく新たな、それこそ事業展開の中で国の有利な財源があった場合はそれを活用するということがあったから、防災公園というか、そういった緑地ということは方向性は出たんだけど、それだけでは終わらないというような、そういう頭があったもんだから、例えば何らかの建物を建てる、施設を建てるときには、それは有利な財源があるのかなと思ったんだけど、それがなくしてそのままっていうことになれば、恐らくこれはもうそのまま、この間もちょっと委員会でも言ったんだけど、それに附帯するような施設っていうのはあんまりもうないのかな、ないのかなっていうか、そういうふうに感じたもんだから、その辺がどうもちぐはぐしてね、ちょっとそれこそ腑に落ちるところがあるんです。もう一遍、ちょっと話してください。

◆岡田信俊 委員長 一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 上杉委員さんおっしゃられたように、建てるメニューといますか、目的によって財源というのは変わってくるわけです。防災公園であれば、当然財源が限られてくるといったところもございますが、何かの公共施設を集約して、例えばですが集約して何か建てるような場合については、また新たな財源といますか、起債が利用できるといった場合もございますので、そこはケース・バイ・ケースといますか、目的によって違ってくるというふうに思っております。

それで、このたび地階の撤去というところで説明させていただきましたのは、地階というのは、撤去しないといけないという部分がございますし、同じ説明になるかもしれませんが、請け差を活用して撤去したほうが見栄えの問題ですとか、次の整備について速やかに対応できるといったところもございますので、その間の説明というのがちょっと確かに欠けておった部分があると思いますが、そこについては内部で協議して、このたび委員会のほうに提案させていただいたという形になります。以上です。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 いろんな議論があって、いわゆる防災公園という形で持って行って、例えば都市計画決定とか変更する場合よりも、そのまま使ったほうが縛られるよりはということで、計画変更なしのまんまで、向かうような話になってるわけなんですわね。そういった状況の中でいうと、例えば新しい施設をとということになったときに、これもちょっとよく分かんないけども、先ほど冒頭に言ったように、例えばここに何らかの施設をするときに、有利な財源っていいですか、国のほうからのそういった、いわゆる交付税措置のあるような、そういったものができるかどうかというの、これからの話で分かんないけども、何かこのたびの計画がもう大体決まったような形で何となく見えてかなわんですわ。だから、それはさっき言ったように、地下埋については、もうそれこそ今回で全部やってしまうと。それだったら、さっき岩永さんが言ったように、当初からそれはそういうふうにしておいたほうが、かえってすっきりしたんじゃないかなと思うんです。今になって、じゃあ、もうそれこそ全部撤去しますと、そんで、今後についてはこれから考えますということになってくると、恐らく何かそのままずるずるっと行くような感じがせんでもないもんですから、その辺りについての情報の提供といいですか、計画の変更についてはもっと早い段階でこういう形にしますという格好で、そういったことで説明してもらわないと、何かすっきりせんような状況が残ってしまったというふうに私自身は考えております。以上です。

◆岡田信俊 委員長 浅井部長。

○浅井俊彦 総務部長 総務部長の浅井でございます。今回の地下の撤去についての考え方につきましては、9月9日の本特別委員会の中で、本庁舎と第二庁舎の撤去の進捗状況を御説明申し上げた際の資料の2のところに、地下部分の解体方針についてということで項目立てはさせていただいて、口頭ではございましたけども、このときにちょっと御説明を申し上げたという経過がございます。この日に併せて市民アンケートの結果も御報告させていただいておるわけなんですけれども、この市民アンケートの結果の中でも、幅広い年代の方からオープンスペースといったような回答も多く出されていたというようなことがございますので、当時の時点でこの跡地の活用方策を検討する中での選択肢を増やすというためにも地下の撤去が必要ではないかというようなお話を、口頭ではございましたけれど、差し上げたというふうに記憶しておりますし、あわせて、場合によりましては解体工事、地上部分の一体工事と併せて12月補正等でお願ひする場合もあり得るというようなことも、ちょっとお話をさせていただいたというような経過もございますので、いろいろな跡地の検討を進める際の支障にならないようにということなども考慮して、地下部分の撤去の取組を決断してきたというような経過がございました。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 もう一言。地下構造物の撤去については、元に戻ればさっきの話で、新たな建物を建てるときに、いわゆる有利な財源があるということで、そういった含みを持たせた形で我々はそれを受け取ったわけだけれども、先ほど部長のおっしゃったように、じゃあ、9月議会でそういったものを口頭でということになれば、まずあそこに建物が建つてというのは非常

に希望が薄くなったのかなという印象しか持たないわけで、それはコストの問題ですから、どちらにしてもあれだけども、方向性からすれば、全部が全部緑地とか防災公園とかそういったものではないわけで、何らかの建物ということになったときに、委員会の中では、あそこに新たな施設を造るときには、有利な財源が活用できるんで後でという話だったんだけど、それがなくなったということになってくると、方向としては、これから考えるんでしようけれども、非常に消極的な今後の取組なのかなというふうに少し残念だというふうに思います。以上です。

◆岡田信俊 委員長 岩永委員。

◆岩永安子 委員 9月議会で確かに口頭で報告を受けました。一番最初は、アンケートをやるわけなので、どうなるか分からないから、もし建物を建てるのであれば有利な財源も活用したいので当面は残しておくということで、上だけの解体工事をするということで始まりました。ですけど、この間アンケートに取り組んで、防災公園をっていうことの、庁舎内でもアンケートが無視されると私は思ってませんので、跡地をどう活用していくかっていう上で、なかなか有利な財源が模索してきたけど活用できないという判断をして、今回こういうふうに進めていくんだということです。私は今回の経過はいろんな条件を模索しながら今、来たんだっていうことで納得したいと思ってます。ですけど、いろんな情報はお互い共有しながら進めていきたいなという、ちょっと苦言を言ったぐらいなことです。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 それでは、質疑を終結し、討論に入ります。

討論はありませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 討論なしと認め、それでは、これより議案第143号、令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第11号）、所管に属する部分についてを採決します。

本案に賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆岡田信俊 委員長 ありがとうございます。挙手全員と認め、本案は、原案のとおり可決されました。

その他

◆岡田信俊 委員長 それでは、2のその他に移ります。

その他、皆様からございますでしょうか。

渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。前回の本委員会におきまして、今日は御欠席されておられますが、米村委員より付近の公園、真教寺公園でありますとか、西町緑地公園についての利用者数であるとか、そういったものはカウントしているのかということで御質問をいただいております。御欠席ですが、お答えをさせていただきたい

と思います。

企画推進部のほうでは、そちらの数字、利用者の人数でありますとかそういったものは把握していないというところがございますが、担当部局は都市整備部のほうでして、そちらのほうより確認をさせていただきました。両公園につきましては、自由に出入りできる公園ということになっておりまして、利用者の数でありますとか利用率、そういったものについては集計ができないというものであるということで、把握できないものであるという回答をいただきました。御報告をさせていただきます。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 それについては、よろしいですね。

そのほか、その他ございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 それでは、なしと認め、本日の全ての日程を終了しましたので、以上で本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を閉会します。ありがとうございました。

午後2時29分 閉会

本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会（第31回）

日 時：令和3年12月15日（水）

本会議終了後

場 所：7階 第1委員会室

1. 議案【審査】

議案第143号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第11号）【所管に属する部分】

2. その他